

保護者様向け

放課後等デイサービス評価表

(保護者等の皆様へ)

この評価表は、放課後等デイサービス事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入してください。

事業所名: あんじゅとよさと

公表: 令和 7年 2月 21日

| 区分 | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 |
|------------------|---|----|---------------|-----|-------|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 14 | 5 | 3 | | ・もう少しスペースがゆったりあってもいいのではと思う。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 14 | 3 | | 6 | |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 15 | 3 | | 3 | ・トイレ等、利用しやすいようにしていただきありがとうございます。 |
| 適切な 支援の 提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 20 | 1 | | | ・保護者は些細な言葉でも気にしてしまうことがあるので、望ましい行動ではない時の伝え方や言葉が一方的では無かったか振り返ってほしい。 |
| | 5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 20 | 1 | | 1 | ・色々な取り組みがあって楽しい。作り物も◎。 |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 2 | | 6 | 14 | |
| 保護者 への 説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 22 | | | | |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 22 | | | | ・変化に良く気づいてもらっている。 ・送迎時に丁寧に様子を伝えてもらっている。 |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 20 | 2 | | | |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1 | 5 | 9 | 7 | ・子育てに孤独を感じているので、交流会があったら参加したい。 |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 14 | 1 | | 7 | |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 19 | 1 | | 2 | |
| | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 15 | 3 | 2 | 2 | |

| | | | | | | | |
|---------|----|---|----|---|--|---|--|
| | 14 | 個人情報に十分注意しているか | 22 | | | | |
| 非常時等の対応 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 17 | 1 | | 4 | |
| | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 20 | | | 2 | |
| 満足度 | 17 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 22 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・人数が多い日・少ない日に関われる時間も違うと思いますが、いつもよく見てもらっている。 ・放課後の大切な居場所になっている。 ・毎回楽しみにしています。 |
| | 18 | 事業所の支援に満足しているか | 22 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・土曜開所もあればうれしい。 ・いつもありがとうございます。 |

《その他コメント》

・これからも子供たちのことを好きで、あんじゅが楽しく安心できる場所でありますように。

・あんじゅの駐車場を出たところにミラーの設置を検討してほしい。(死角があったり、坂を下ってくる車や自転車のスピードが早く、怖い)
→2024年12月: 駐車場出口にミラーを設置しました。

《質問事項》

Q: 長期休み時などはスペースいっぱいの子供と大人がいる印象。体を動かしたい子供には、発散できる方法はあるのか？

A: 利用人数等の関係で身体を動かした遊びを行うことが難しい日もありますが、相撲をしたりカラーカーボンを使って綱渡りや幅跳び、大縄跳びをしたりボールを使った遊びをしたりと、子供達からの意見を聞いて可能な限り身体を動かした活動ができるよう取り組んでいます。プログラムで音楽に合わせてダンスをする日もあり、子どもたちは楽しみにしています。

Q: 今、利用者は何名いるのか？

A: 24名のご利用者様がいらっしゃいます。

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 2月 21日

事業所名:あんじゅとよさと

| 区分 | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------------------------|---|----|---------------|---|--|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか | 1 | 3 | 2 | ・静と動を分けて実施。 ・1階2階を分けて実施。 ・学校別のプログラム立案。 ・問題行動があった場合は一旦退室し、事務所で対応。 | ・児童の体格もよくなり、窮屈に感じる 場面もある。 ・利用人数多い日は狭い。 |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | 3 | 2 | 1 | ・特性・個別サポート加算該当 者を踏まえた人員。 ・全体を見渡せる位置に必ず 誰がいるようにしている。 | ・現場のみならず、送り保護者対応多 数。特に金曜日柔軟に対応できるよ うにする必要あり。 ・利用人数が多い日は、スタッフ総出 で対応。 |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされているか | 4 | 2 | | ・要所に点字ブロック、手す り、エレベーターの設置。 ・出入口に他傷段差がある が、マットを敷いて配慮してい る。 | |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いるか | 6 | | | ・個別支援計画書作成にあたり、定期的な担当者会議を実施。 ・ケース記録のファイルに記入し、スタッフみんなが確認できる ようにしている。 ・決定した目標への反省点を出し合い、共有している。 ・ノートを作成し、出勤時に確認。 | ・その日のプログラムに対しての個別 対応についてもミーティングで検討・周 知。 |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげているか | 5 | | 1 | ・年1回講評を頂き実施。また、日々の連絡帳・送迎時で 伺っている。 | |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開しているか | 6 | | | ・毎年会社ホームページで公 開。 | |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか | 1 | 1 | 4 | | ・全てではないが、指摘された点は改善 に努めている。 |
| 適切な 支援の 提供 | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか | 6 | | | ・月1回、ZOOMでの法定研修 実施。 ・新任職員研修も定期的 に実施。 | |
| | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している か | 6 | | | ・実態を報告したうえで、で きる限り最善を尽くせるよう 励んでいる。 | |
| | 10 子どもの適応行動の状況を図るために、標 準化されたアセスメントツールを使用してい るか | 6 | | | ・それぞれ項目に沿って記入 できている。(生活・行動・能 力・対人) ・絵カードを用いて、わかりや すく掲示。 | |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行ってい るか | 6 | | | ・静・動バランスよく特性踏 まえたうえで立案している。 ・月ごとに大まかに計画し、そ の日の朝礼時に立案。 ・すべての児童が参加しやす いように立案されている。 | ・個別的にもしっかり対応できるように していく。 |
| 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫し ているか | 5 | 1 | | ・静・動バランスよく特性踏 まえたうえで話し合い、立案・改 善している。 ・その時々児童間の流行を 取り入れ、興味を持ってもらえ るようにしている。 | | |

| 区分 | チェック項目 | はい | どちらとも いいえ | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---|---|----|--------------|----------|--|--|
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 3 | 2 | | ・1日の流れを絵カードと時計カードで掲示し、明確化している。 | ・細やかではないが、サイクル変動する為、日課表掲示。 |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | 2 | | ・5領域の中に導入。 | |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 6 | | | ・流れや支援の内容、対応面の確認。 | |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 6 | | | ・意見をもとに担当者が日報作成後、管理者へ提出。 ・ノートで確認。 | |
| | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 4 | 2 | | ・ヒヤリハット等でも記録。 | ・ヒヤリハットから検証し、同じことを繰り返さないように話し合い必要。 |
| | 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 6 | | | ・半年ごとの計画更新実施。 | |
| | 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | 4 | 2 | | ・様々な視点から活動を組み合わせさせて支援している。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 3 | 1 | 1 | ・支援にあたる職員が参加できるよう、勤務時間を調整。 | ・常にその児童に付いているスタッフも参画すべき。 |
| | 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 4 | 1 | 1 | ・予定表を頂き、時間把握。地域参観日出席。(11/18) ・保護者からも連絡帳等でお知らせ頂いている。 | ・支援校の細かい行事内容の把握が必要。(行事があり疲れて来所すること多々あり。) |
| | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。 | 3 | | 1 | ・療育センター受診の際は、意見を寄せていただいている。 | ・スタッフの人員もあり、今後につなげていけたら。 |
| | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 6 | | | ・相談員さんから提供していただいたり、事前に見学してもらっている。 | |
| | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 4 | | 1 | ・以前保護者から依頼があり、情報提供した。 | |
| | 25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 4 | | 1 | ・市障害者支援課の研修に年数回参加。 | |
| | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 1 | 5 | ・今後検討予定。 | |
| | 27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 4 | | 2 | ・管理者が定期的に連絡協議会等へ出席。 | |
| | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | 1 | | ・送迎時対応。 ・更新時に報告・確認している。 | |
| 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 3 | 1 | 2 | ・面談時に対応。 | | |

| 区分 | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|---------------|---|---|---|
| 保護者への説明責任等 | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 6 | | | ・契約時に対応。 | |
| | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 6 | | | ・連絡帳や電話にて対応。 | |
| | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 3 | 3 | | ・現時点で未実施。将来的に実施検討中。 |
| | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | 1 | | ・ミーティングや会議等で改善策を話し合い、報告書を作成、周知、対応、定期的に見直し。 | |
| | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 4 | 1 | 1 | ・2024年12月作成し配布。 | |
| | 35 個人情報に十分注意しているか | 5 | 1 | | ・個別ファイルで管理し、持ち出しがないように十分注意している。 | |
| | 36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | | 1 | ・分かりやすく丁寧に伝えるように心がけている。 | |
| 37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 1 | 2 | 3 | ・ご厚意により2024年9月にぶどう狩り体験参加。 ・敬老の日のお祝いを、同敷地内の高齢者施設で実施。 ・地域の文化祭に作品出展。 | | |
| 非常時等の対応 | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 4 | 2 | | ・各マニュアルを策定している。 | ・細部までは行き届いていない。 ・マニュアルはあるが、保護者の方にも定期的に周知したほうが良い。 |
| | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 6 | | | ・火災・地震中心に年2回、自然災害に備えた対策。 ・車いす利用児のおんぶ避難の練習実施。 ・訓練実施に当たり、前もって絵本等で子供たちと共有している。 | |
| | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 6 | | | ・年1回、ZOOMでの法定研修実施。 | |
| | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 5 | | 1 | ・現在対応見なし。車イス使用も本児の意向に沿ってしている。 | |
| | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 3 | | 3 | ・現在対応見なし。 | |
| | 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 6 | | | ・個別にも時系列に記入できるノートあり。 | ・ヒヤリハットのみだったため、新たにアクシデント書式作成しその都度記入。 ・その時、その場での解決策を検討する会議を開くようにしていく必要あり。 |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|-----|---------------|
| ○事業所名 | あんじゅ とよさと | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 11月 10日 | | 2024年 12月 16日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 24人 | (回答者数) 22人 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年 12月 1日 | | 2024年 12月 16日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6人 | (回答者数) 6人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 2月 3日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | ・それぞれの児童の特性や個性を、支援に携わる職員同士で情報共有し支援を行っていること。また、プログラムも静・動をバランスよく実施できるよう毎朝のミーティングで話し合いが出来ていること。 | ・些細なことでも報連相し、ノートに記入している。 ・朝礼及び送迎後の時間にその日あったことの話し合いを行っている。 ・その日利用する児童みんなが参加できるようなプログラムになるよう、毎朝立案している。 | ・非常勤職員は朝のミーティングに参加できないことがあるため、記録等で情報共有できるようにする。 |
| 2 | ・パニックになってしまったり、他児童への他害をしてしまうようになったりした場合に、キーパー対応できる職員がいること。 | ・別室に移動したりその場から離れたりして、クールダウンできるように行動している。 ・一日の流れを絵カードと時計カードを使用し、分かりやすく掲示している。 | ・不穏な状態になってしまった時の前後の様子を記録に残し、その状況になってしまう前に職員が気付けるようにする。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や電話等で、保護者の方にその日の児童の様子をお伝えできていること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員間で話し合い、気になることがある児童に関しては保護者の方や担当の相談員と連絡を取って情報収集・共有している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所での様子を見てもらう機会を作り、自宅以外の場所でどんな風に過ごしているのかを直接見て知ってもらう。 |
|---|---|---|---|

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用児への声掛けの際、声が大きくなったり口調が厳しくなったりすることがあること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「時間が来たからちゃんとしなければいけない」というそれぞれの職員の想いから、つい口調が強くなったり声が大きくなってしまふ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議等で定期的に自身の支援を見直す機会を作る。 ・職員のアンガーコントロールが出来るように研修を行ったり、適宜休憩が取れるよう職員間での連携を図る。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・その日利用する人数によって事業所の活動スペースが十分でない時があり、特性に応じた対応が難しい日があること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動部屋のスペースが不十分。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでも行っているような、1階・2階に分かれてプログラムを行って物理的に児童を分けて過ごす。 |
| 3 | | | |